

授業科目：摂食機能療法学

担当教員：植田耕一郎，阿部 仁子，中山 潤利，佐藤 光保

授 業 の ね ら い	<p>少子超高齢化が進むわが国において、疾患の重症化，複雑化，および障害の慢性化，長期化が加速している。世界に有数の長寿国家となったが，平均寿命と健康寿命の差は大きく，男女ともに10年前後の介護生活を余儀なくされているのが現状である。医療のあり方が見直され，国家的に在宅医療が推進されるなか，いかに生きるかといった生きる質が問われるようになった。そのなかで医科，歯科のみならず介護，福祉，保健の領域でも摂食機能障害が注目され，多職種連携・協働といった職種を超えたチーム医療の重要性が叫ばれている。そのなかで，歯科医療従事者の役割も大きく変わりつつあり，診療所での診療だけでなく訪問歯科診療といった新しい診療体制や，それにかかわる有病高齢者・要介護高齢者に対する全身管理や対応なども求められるようになってきている。当講座では，以上の歯科医療環境をふまえた上，摂食機能療法の理念，診断，技術について臨床的視点にたった考察の習得を目的としている。</p>
テ ー マ：	<ol style="list-style-type: none">1. 摂食嚥下のメカニズムについて2. 摂食機能障害の診断について 嚥下造影検査，嚥下内視鏡検査，舌圧測定検査，唾液分泌検査等3. 「障害の医学」の理念について4. 摂食機能療法の効果についての文献的考察
内 容：	<ol style="list-style-type: none">1. ビデオレントゲン造影検査，内視鏡，筋電計による診断の実施および考察2. 摂食機能障害における味覚検査，唾液分泌検査の応用についての実施および考察3. 障害の医学についての講義 摂食機能療法手技の効果に関する文献的考察
成 績 評 価：	<ol style="list-style-type: none">1. 課題発表2. 課題レポート3. 口頭試問
そ の 他：	